



## 願いを体現する ～これが、我が園～

◎「R君、おはよ～っ！」T君からの声でした。職員は、目を見合わせて満面の“にっこり”！その直前には、迎える温かい拍手が会場に響いて、なでしこ組の全員でR君を包み込みました。



全員集合!“マツケンサンバII”

### \*なでしこ (平田先生)

これまでの姿を見て、本番に向かってギアが上がり、本番が一番持っている力を出せるはずと期待・信じていたが、本当にその通りになった。舞台上で友達のフォローをしあったりアドリブを交えながら役を楽しんでいた姿が見られた。一番は、イキイキとした姿に、これまでを振り返りながら成長を皆さんに届けることができてよかった。

個人的なテーマとして「誰もが温かく 楽しく終えられる」を目指してきたが、達成できたのではないかと思う。〇〇君は・・・、△△君、□□さんは・・・など、サポートによってやり終えることができた。

全員揃って行えたのは、周りの支えがあってという感謝を忘れずにいたい。

《全員そろって》の願いは、担任や職員だけでなく、子どもたちやご家族みんなの「共有の願い」だったのです。一緒に生活してきた分かり合っている“仲間”だからこそその思いが叶った瞬間でした。

### \*たんぼぼ (渡邊先生)

当日までの練習では、子どもたちから「今日も【てぶくろ】やる？」とすごく嬉しい言葉を聞くことができた。また、練習でない時でも「♪さんむいよ～♪」と歌を口ずさむ姿を見ることができた。お遊戯会当日、自信をもって歌や言葉(せりふ)を言うことができていた。大きな拍手をもらった子どもたちの姿はとても嬉しそうだった。

今まで緊張していた子も、笑顔でできていて、子どもたちの成長に喜びを感じた。この経験を活かして、年中になる準備をしていきたい。



“てぶくろ”&“どんな色が好き？”

### \*ひまわり (近藤先生)

これまでの取組の中で、日常のごっこ遊びの中で見られた発想ややり取りを大切に受け止め、それらをもとに創作劇へ発展させていった。子どもたちが主体的に取り組めるよう、遊びの延長として環境を整えたり、イメージを共有できるような言葉がけを行ったりすることで「こうしたい」「こんな動きをしたい」と自分の思いや考えを表現する姿が多く見られた。

活動の過程では、今日の目標を決めたり互いの良さや頑張り認め合ったりする中で、協同性や仲間意識の育ちを大きく感じる事ができた。また、繰り返し取り組む中で、役への親しみや自信が深まり、表現すること自体を楽しむ姿へとつながっていった。本番では、これまでの経験や友達の存在を支えに、役になりきって伸び伸びと表現し、最後までやり遂げることができた。この経験は、クラス一丸となって取り組んだことに対する達成感や満足感につながったと考える。

今後も、子どもたちの遊びや発想を出発点とした保育を大切に、主体的に表現できる環境構成や援助を行いながら、遊びが連続性をもって深まるようにしていきたい。また、この経験をもとに、年長児に向けて、自分の思いや考えを出し合いながら、より主体的に活動を進めていく力へとつなげていきたい。



輝ける工夫満載の  
創作劇“ももたろう”



やりたい&できるを表現  
“ももたろうII”

### ◆西部幼稚園の特徴の一つに『多様性』があります。

日々の生活はもちろん、どの行事でも“どの子ども大切なひとり”として職員が支援しています。支援のアイデアは、試行錯誤です。今年の歩みも『共生』を願ってのものでした。これからも・・・です。

このことは、保護者にも理解していただいて応援してもらっています。

### ▶なでしこの“マツケンサンバII”やひまわりとなでしこのコラボ企画の“別日も開催”は、まさにこのことを体現したものだっただけです！



～PS～ 世界情勢が！！！！となった今、未来を生きる子らを前にして、今一度 心から願わずにはいられません。